

資料番号	20010723
差出人	医療委員会
受取人	(財) 骨髄移植推進財団 認定施設連絡責任医師 各位
採取方法	骨髄採取
通知区分	安全情報
事例分類	自己血

タイトル	左腸腰筋部位に血腫を認めた事例
本文	<p>ドナーデータ：年齢：30歳代 性別：男性 &lt;経過&gt;Day-1 入院 Hb 16.1g/dl WBC 4700 Plt 20.3 CK 83Day 0 骨髄採取 採取部位：両側後腸骨稜 採取針 13G シーマン 採取後、穿刺部痛及び左ソケイ部痛を訴えるが、徐々に改善 これらの痛みは歩行時、あるいは股関節を外転したときにみられた。 Hb 13.8g/dl WBC 4600 Plt 16.4 CK 89 CRP 0.16Day +1 左下腹の圧痛が出現。増強するため腹部エコー施行。明らかな所見は見られず。 Hb 12.8g/dl WBC 7400 Plt 15.9 CK 288 CRP1.66Day +2 左下腹の圧痛が持続。CT 施行。左腸腰筋内に血腫およびガス像を認めた。止血剤並びに抗生物質の投与。 Hb 13.8g/dl WBC 6800 Plt 16.7 CK 538 CRP 1.98 左腹部の圧痛を認めるが、歩行は可能。食欲などの全身状態は良好。採取担当医師コメント CT 上腸骨の厚さが薄いような印象を受けるが、病的かどうかの判断はできない。経過観察 Day +14 退院</p>

別紙タイトル	
別紙本文 1	
別紙本文 2	<p>赤ちゃんは産まれてからすぐにさい帯から切り離され、このときさい帯と胎盤はお母さんの体内に残っていますが、10分程度で体外に娩出されます。さい帯血の採取には以下のとおり2つの方法がありますが、現在、主に行われている方法は娩出前の採取方法です。</p>